



タケエイグループ  
CSR報告書  
**2017**

T A K E E I C S R R E P O R T 2 0 1 7

Only One Earth



## 経営理念

# 資源循環型社会への貢献を目指す

自然との調和、地域住民との共生を基調として、  
環境負荷の低減を前提とした資源の循環的活用の  
社会システム形成に貢献するために、  
顧客ニーズに対応した  
リサイクル技術の確立と施設の充実を推進する。

## 経営ビジョン

### 経営体質強化

組織力、収益力の強化、さらに信用力、資金力の向上を土台として、  
循環型社会形成に貢献し得る自らの経営体質の強化を目指す。

### 環境ソリューション事業 の拡充

お客さまの多様なニーズについて、3R(リデュース、リユース、リサイ  
クル)および適正処理を推進するとともに、多分野、多機能な対応  
を図ることにより、ソリューション(解決策)を提供し、限りない再資源  
化に挑戦します。

### 協業化による事業拡大

静脈産業における確固としたポジションの確立に向けて、当社として  
の強みを活かしつつ、他社との協力関係、ネットワーク化による相乗  
効果を上げる協業化を追求し、事業活動の領域を拡大していく。

# CONTENTS

経営理念・経営ビジョン	01	<b>環境のために</b>	
編集指針	02	タケエイグループの	
会社概要	03	再資源化ソリューション	15
事業概要	04	環境とのかかわり	17
トップメッセージ	05	事業活動に伴う環境負荷	19
		環境負荷低減活動	20
		エコ・ファーストの取り組み	21
<b>タケエイグループの価値向上プロセス</b>	07		
<b>特集</b> タケエイグループの		<b>社会のために</b>	
再生可能エネルギー事業	09	お客さまのために	23
		社員のために	25
		安全・衛生のために	27
		地域・社会とのかかわり	29
<b>タケエイグループのCSR</b>			
タケエイグループのCSR	13		
<b>ガバナンス</b>			
経営体制	14	タケエイグループ各社の取り組み／	
		タケエイグループの事業拠点	31

## 編集指針

タケエイグループは2013年より「環境報告書」「環境・社会報告書」を発行し、事業全体の説明や、環境および社会的側面における取り組みを報告してきましたが、昨今のCSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)に対する要望の高まりを認識し、このたび社会的側面についての報告内容を拡大し、「CSR報告書」として発行することとしました。

### 免責事項

本報告書に含まれる将来に関する記述については、記述した時点で入手できた情報や計画に基づいているため、諸与件の変化によって異なる結果になることがあります。読者の皆さまには、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

## 報告対象期間

2016年度(2016年4月1日から2017年3月31日まで)

※ 一部上記期間以外の内容も含んでいます。

## 報告対象組織

原則としてタケエイグループ((株)タケエイおよび子会社25社)を対象としています。タケエイグループ全体を対象としていない報告は、個々に対象範囲を記載しています。

## 参考ガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」

## 発行日

2017年9月(次回予定2018年9月)

## 本報告書に関するお問合せ先

株式会社 タケエイ CSR推進部 ISO推進グループ  
〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目4番1号 A-10階  
TEL:03-6361-6836 FAX:03-6361-6839

# 会社概要(2017年6月末現在)

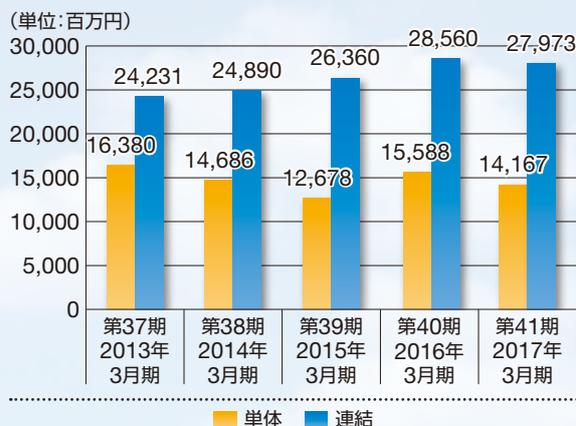
タケエイグループでは各地の企業と積極的に連携を深め、事業領域と事業地域を拡充しています。これにより、お客さまの多様なニーズに最適なソリューションサービスをお届けできる体制づくりを進めています。

会社名	株式会社 タケエイ
代表者	代表取締役社長 山口 仁司
設立年月日	1977年3月7日
資本金	6,640百万円
所在地	東京都港区芝公園2丁目4番1号 A-10階 TEL:03-6361-6830(代表) FAX:03-6361-6835
従業員数	単体 615名 連結 1,249名
上場取引所	東京証券取引所市場第1部

## 事業推移

タケエイグループでは、2015年に策定した成長戦略となる中期経営計画「VISION for 2020」に沿って、廃棄物処理業の収益力増進や、非廃棄物処理分野についても積極的に事業拡大に向けた施策を実施してきました。この結果2016年度の連結売上高は27,973百万円(前連結会計年度比2.1%減)、営業利益は2,400百万円(同9.8%増)、経常利益は2,275百万円(同7.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,245百万円(同3.5%減)となりました。

売上高



営業利益



経常利益



# 事業概要

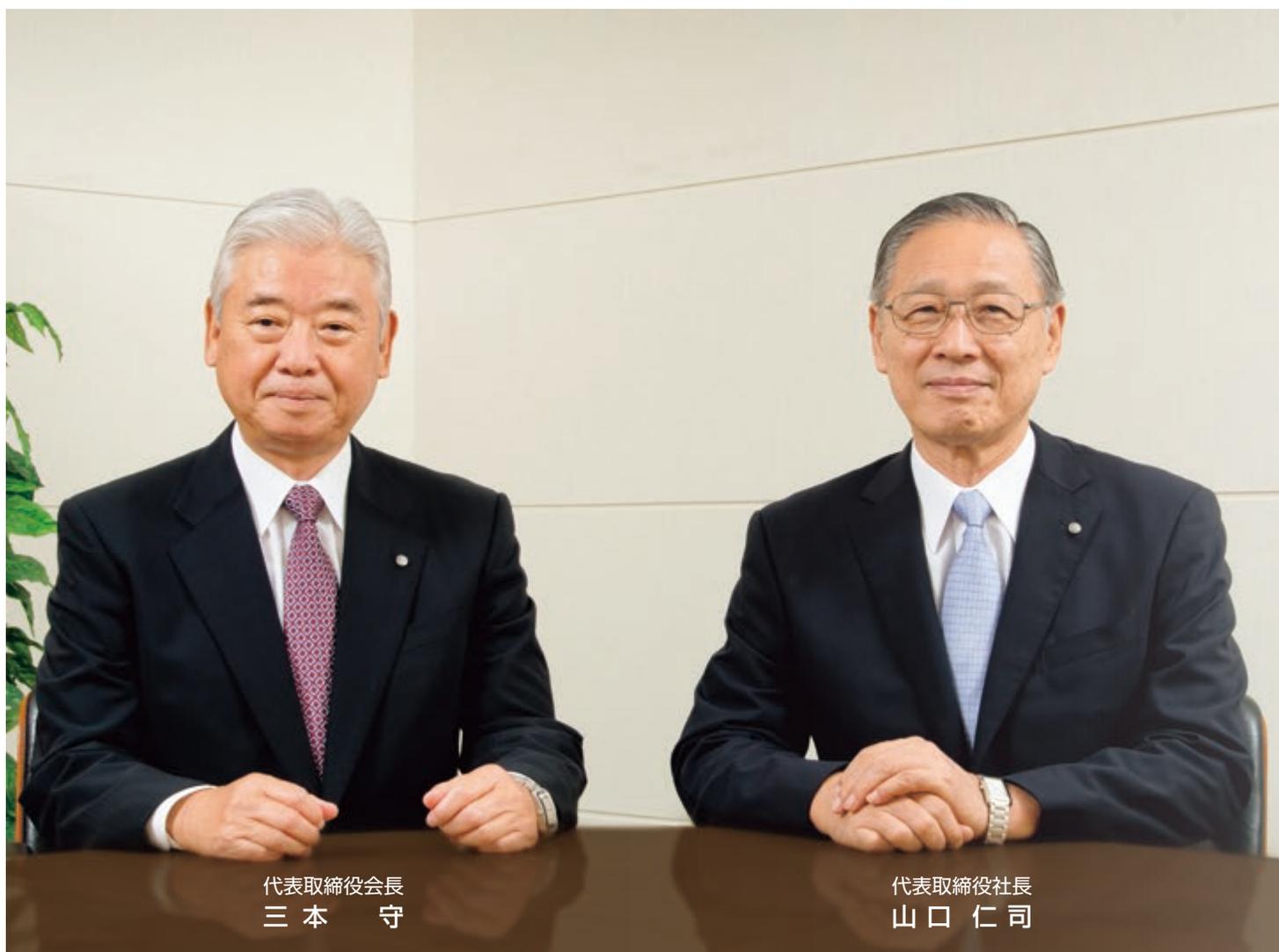
## 廃棄物分野

建設廃棄物処理・リサイクル	マテリアルリサイクル	ランドフィル(最終処分場)
<p>建設工事や解体工事等から発生する建設混合廃棄物を中心に、各種の機械設備や再資源化施設による徹底したリサイクルを行っています。</p> <p>(株)タケエイ 川崎リサイクルセンター 東京リサイクルセンター 四街道リサイクルセンター</p> <p>(株)信州タケエイ 諏訪リサイクルセンター</p>	<p>廃石膏ボードや鉄・非鉄スクラップ、工場から排出される廃液など特定の品目は、再資源化の品質と効率性を高めるため、その品目に特化したリサイクル工場で処理しています。</p> <p>(株)池田商店 (株)ギプロ (株)グリーンアローズ関東 (株)グリーンアローズ東北 (株)信州タケエイ 安曇野リサイクルセンター</p> <p>(株)タケエイメタル 東北交易(株) イコールゼロ(株)</p>	<p>現在タケエイグループでは安定型最終処分場および管理型最終処分場を保有しています。いずれも、法令や条例等の規制を遵守し、徹底した水質管理を行っています。</p> <p>(株)タケエイ 大木戸最終処分場 成田最終処分場</p> <p>(株)北陸環境サービス (株)信州タケエイ (株)門前クリーンパーク</p>

## 非廃棄物分野

再生可能エネルギー	環境コンサルティング	環境エンジニアリング
<p>間伐材や剪定枝などの未利用材を活用し発電するバイオマス発電事業や、最終処分場の跡地を有効活用した太陽光発電事業などにより、地域・自然環境全般に貢献できる事業を行っています。</p> <p>(株)T・Vエネルギーホールディングス (株)津軽バイオマスエナジー (株)花巻バイオマスエナジー 花巻バイオチップ(株) 秋田グリーン電力(株) (株)横須賀バイオマスエナジー (株)田村バイオマスエナジー (株)津軽あつぷるパワー (株)花巻銀河パワー (株)津軽エネベジ (株)タケエイグリーンリサイクル (株)タケエイエナジー&amp;パーク</p>	<p>社会問題となっている有害廃棄物等の測定・分析や適切な処理の提案・コンサルティングなどを通じ、お客さまのニーズに応えます。</p> <p>環境保全(株) (株)アースアプレイザル</p> <div data-bbox="619 1697 975 1966" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="788 1973 975 1995">環境保全(株)(分析風景)</p>	<p>環境装置や特殊車両の開発・製造・販売を行っています。廃棄物処理に関するノウハウに機械設計のノウハウを融合・発展させ、新たな環境装置の開発を進めます。</p> <p>富士車輛(株)</p> <div data-bbox="1031 1697 1386 1966" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1158 1973 1386 1995">富士車輛(株)(RPF製造設備)</p>

# Top Message



代表取締役会長  
三本 守

代表取締役社長  
山口 仁司

## トップメッセージ

**タケエイは創業50周年を迎えました。  
これまでのご支援の恩返しとして、  
地域や社会へのさらなる貢献を果たすため、  
総合環境企業への成長を目指します。**

当社は、1967年の創業以来、建設現場から発生する建設廃棄物の処理事業を主体とし、廃棄物の一貫処理体制の構築やリサイクル品目の拡大をいち早く行うなど、当時より時代に先駆けて事業を展開してきました。

2015年に中期経営計画「VISION for 2020」を発表し、今年が3年目となりました。この計画では、2020年の東京オリンピックを契機に大きく変化するであろう当社の事業環境を見据え、主体とする「建設廃棄物処理・リサイクル事業」に注力しつつも、「再生可能エネルギー」「環境コンサルティング」「環境エンジニアリング」といった非廃棄物分野への積極的な投資・計画を進めることで、これまでの建設廃棄物処理事業の一極集中モデルから総合環境企業への移行を目指すことを掲げています。

非廃棄物分野の中でもとりわけ力を入れているのは、再生可能エネルギー事業（木質バイオマス発電）です。木質バイオマス発電は、電力供給の安定性をはじめ、地域の雇用や森林資源の保全といった波及効果も高く、当社の経営理念である「地域住民との共生」を具現化する事業であるとも言えます。2016年度は、(株)花巻バイオマスエナジーが岩手県花巻市において木質バイオマス発電施設の本格稼働を開始しました。また2015年より稼働している(株)津軽バイオマスエナジーにおいては、発電時に発生する排熱の農業利用についても開始したところです。今後はさらに木質バイオマス発電と農業分野とを組み合わせた事業を展開することで、地域農業の活性化にも積極的に取り組んでいきます。

当社は今年で創業50周年を迎えましたが、これまで、廃棄物処理法の改正や時代の潮流を見据えた事業体制の構築・進化により、廃棄物の適正処理・リサイクルを推進してきました。これにより、微力ながら社会へ貢献することができたのではないかと自負しています。しかし、企業に求められる役割が変化してきた今、環境を大切にすることが産業をつくり、地域の生活環境や経済を整えることにつながると考えます。これからは当社の強みを活かすことで、今まで以上に地域や社会から必要とされ、共に成長・発展する会社となることを目指します。

代表取締役会長 **三本 守**

代表取締役社長 **山口 仁司**

# タケエイグループの 価値向上プロセス

タケエイグループは、資源循環型社会への貢献を目指し、廃棄物の適正処理を推進する「廃棄物分野」、環境分析や環境装置等の開発、再生可能エネルギー事業を行う「非廃棄物分野」の2つを柱として、事業を展開しています。廃棄物処理における総合的なソリューションサービスの提供や、地産地消型の木質バイオマス発電事業などを通じて社会的課題の解決に取り組むことで、企業価値の向上を目指していきます。

## 事業環境

- 廃棄物の再生資源としての循環利用および環境負荷の低減に対するニーズの高まり
- オリンピックを契機とした都市の再構築に伴う廃棄物の増加
- 廃棄物処理法の強化
- エネルギーの安定供給に向けた再生可能エネルギーのニーズの高まり
- パリ協定の締結に伴う地球温暖化対策への関心の高まり

## タケエイグループの事業

- 廃棄物分野
- 非廃棄物分野

建設廃棄物処理  
リサイクル

マテリアルリサイクル

ランドフィル(最終処分場)

再生可能エネルギー

環境コンサルティング

環境エンジニアリング

## タケエイグループの強み

創業以来積み重ねてきた  
信頼と廃棄物処理のノウハウ

豊富な車両保有台数および  
多種多様な容器による  
収集運搬能力

事業領域・事業地域の拡充による  
的確なソリューションを  
総合的に提供する能力

法令や条例等の規制遵守による  
安心・安全な処理体制

地域に密着した  
バイオマス発電事業による  
エネルギーの地産地消の実現

## 総合環境企業

### ステークホルダーにもたらす価値

#### お客さま

多様なニーズや課題を  
タケエイグループの強みを  
活かして解決

#### 地域住民

安全な地域環境の保全、  
地域課題の解決に貢献

#### 株主 投資家

経営の安定・成長と  
利益の還元

#### 取引先

対等で公正な関係

#### 社員

安全で働きやすく、  
働きがいのある環境の  
提供

特集

# タケエイグループの 再生可能エネルギー事業

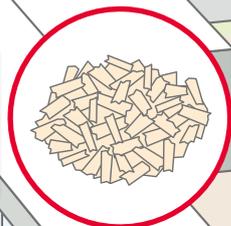
タケエイグループが推進する木質バイオマス発電は、燃料となる間伐材等の調達から電力供給まで地域に根ざして行います。また、発電の際に発生する熱エネルギーの農業利用も開始しました。これにより、地域と共に生きる再生可能エネルギー事業を実現しています。



剪定枝



木質チップ  
加工工場



ハウス栽培



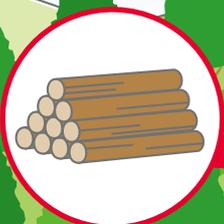
VOICE



株式会社津軽エネベジ 農場長  
長谷川 一

## バイオマス発電で発生した熱エネルギーを農業へ有効活用しています

青森県津軽平野の南に位置する平川市に、2013年4月に木質バイオマス燃料として発電事業を行う会社「(株)津軽バイオマスエナジー」が設立され、さらに、2017年4月にはバイオマス発電で発生する排熱を利用して施設園芸に取り組む会社「(株)津軽エネベジ」が設立されました。今回スタートした事業では、発電排熱を利用するため農業用ハウスの暖房費が不要となります。また、栽培には高糖度トマト生産に適した栽培システムを取り入れているため、高付加価値での販売も期待でき、目標収量25トンを見込んでいます。全国に先駆けて取り組むバイオマス発電の排熱を利用した施設園芸は周囲からの注目度も高く、青森県産業技術センターからも大きな期待が寄せられています。



間伐材



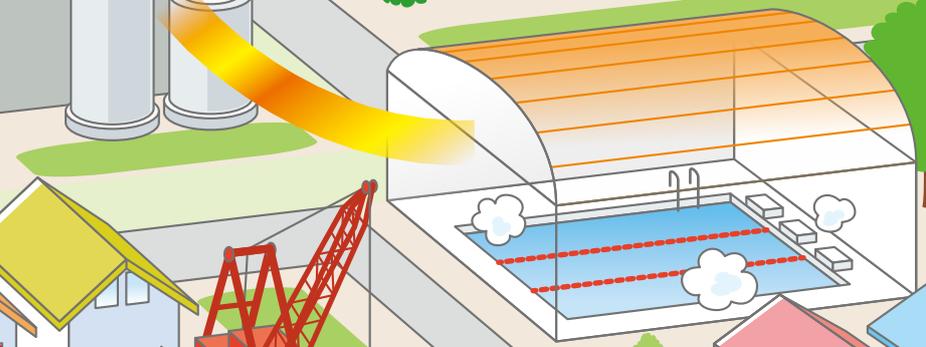
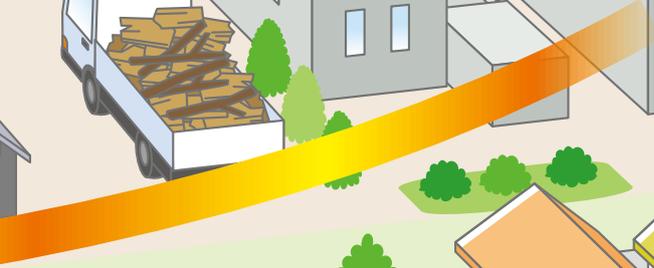
電力会社



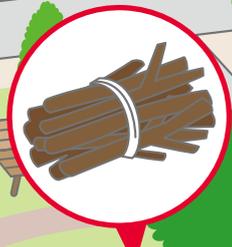
バイオマス  
発電所



10



廃木材



剪定枝



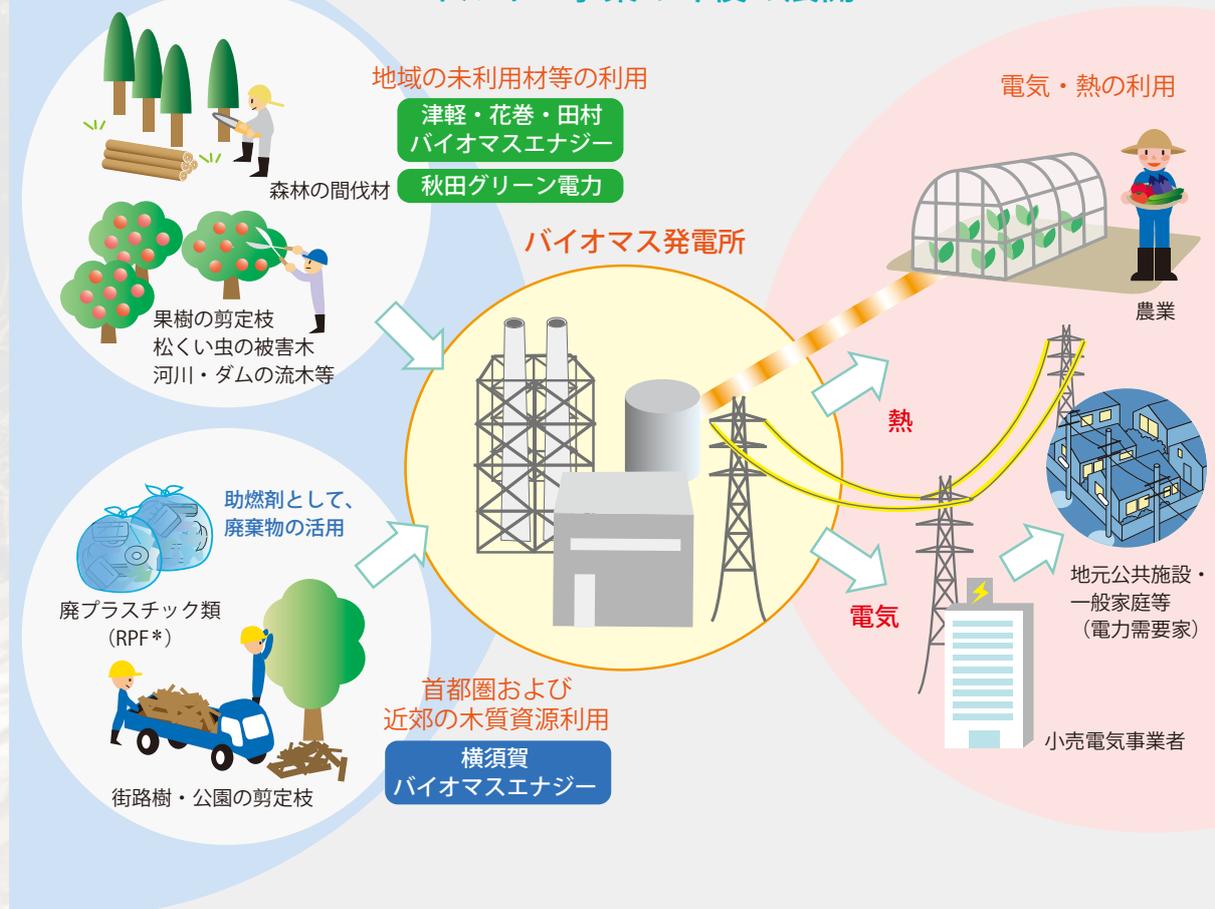
タケエイグループが展開する「地産地消」のバイオマス発電

タケエイグループが取り組むバイオマス発電事業は、発電の燃料となる原材料の調達、発電、エネルギー供給までを地域に根ざして行うことで、「地産地消」のバイオマス発電スキームを実現しています。これにより、環境にやさしいエネルギーの効率的な活用に加え、地域の森林保全や雇用創出といった波及効果も期待されています。

すでに稼働を開始している(株)津軽バイオマスエナジー・(株)花巻バイオマスエナジーでは、地域の豊かな自然環境に着目し、森林間伐材・果樹の剪定枝・松くい虫の被害にあった樹木等の未利用材を木質チップとして加工したものを燃料として発電しています。一方で、(株)横須賀バイオマスエナジーでは、首都圏および近郊で発生する街路樹等の剪定枝や、廃プラスチック等の廃棄物を燃料として活用する都市型バイオマス発電を計画しています。

このように、地域の特色を活かしたバイオマス発電により生まれた電気エネルギーは、小売電気事業者等を通じて地域へと供給されます。さらに(株)津軽バイオマスエナジーでは、これまで排熱として処理されていた熱エネルギーの活用も開始しました。今後も、バイオマス発電事業を通じて、地域のまちづくりへの貢献を目指します。

タケエイグループ  
エネルギー事業の今後の展開



\* RPF : Refuse derived paper and plastics densified Fuelの略称であり、主に産業系廃棄物のうち、マテリアルリサイクルが困難な古紙および廃プラスチック類を主原料とした高品位の固形燃料(出典：一般社団法人日本RPF工業会)

## バイオマス発電に伴う熱エネルギーの有効活用

タケエグループは、2015年12月にグループ初の木質バイオマス発電施設となる(株)津軽バイオマスエナジーの稼働を開始してから、地域に根ざしたバイオマス発電事業により地元林業の活性化や、地域の雇用創出を目指してきましたが、2016年11月、さらなる地域活性化を図るべく農業分野への参入を発表しました。

発電の過程で発生する熱エネルギーを、高精度トマト栽培のための暖房として、隣接する農業用ハウスに供給します。これにより、森林保全や林業の活性化といった従来の効果に加え、地元農業の活性化へもつながります。タケエグループはこの取り組みを新たなモデルとして、低炭素型エネルギーの創出だけにとどまらない、地域活性化につながるバイオマス発電事業を展開していきます。

(株)津軽バイオマスエナジーが拠点を置く青森県平川市は、2016年度バイオマス産業都市として認定されました。同社の取り組みは、「平川市バイオマス産業都市」のプロジェクトの一環として行っています。

### (株)花巻バイオマスエナジー・花巻バイオチップ(株)が稼働を開始

2016年12月に(株)花巻バイオマスエナジーが竣工を迎え、2017年2月より売電を開始しました。燃料となる木質チップは、2017年2月に営業運転を開始した、地元の森林組合や木材関連企業も出資する花巻バイオチップ(株)が供給します。木質チップの原料には、地元で発生する間伐材に加え、松くい虫の被害木等も活用します。



### VOICE



(株)和光製材所 代表取締役  
瀬川 清一郎 様

#### バイオマス発電は、安全安心な電力の供給だけでなく、 地元産業に多大な恩恵をもたらしました

東日本大震災以降、岩手県民は原子力発電に代わる、より安全・安心な発電を求めようになりました。バイオマス発電所の稼働により、安全・安心はもとより、放置されていた未利用材などが、資源として新たな価値を生み出すポテンシャルとなり、地元産業は多大な恩恵を受けています。一方、県内の伐採跡地の再生林は30%未満といわれており、長期的な木材供給体制の構築が必須となります。今後は、岩手県の林業・木材業界全体の発展のため、関係機関と連携をとり、さらなる尽力をお願いしたいと思っております。

### VOICE



花巻市森林組合 専務理事  
佐藤 順一 様

#### 松くい被害木など廃材として扱われていた資源が、 バイオマス発電により生まれ変わりました

岩手県では、県央から県南部にかけて松くい虫被害が激害化しており、林業的・人的・物的被害への懸念や景観の悪化などが問題となっております。こうした中、松くい被害木の大きな需要先であるバイオマス発電所が整備されたことで、木材の流通が活発化し、森林所有者が改めて山の価値や大切さに目を向けるきっかけとなりました。今後、木材を活用した再生可能エネルギーの地域供給を通じて、地球温暖化対策や森林の大切さへの理解醸成を図るとともに、幅広い地域産業活性化の原動力となるよう期待しています。

# タケエイグループのCSR

タケエイグループは、総合環境企業としての社会的責任(CSR)を果たすため、事業活動を通じて社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の構築に貢献していきます。

また、ステークホルダーに対しても社会的責任を果たし、期待に応えることで、さらなる企業価値の向上を図っていきます。

## タケエイグループ企業行動規範

タケエイグループが大切にしている価値観・行動指針を明確化したものが「タケエイグループ企業行動規範」です。企業行動規範を全社員で共有し、日常業務の中で実践・行動することで、企業の社会的責任を果たし、グループの発展に努めていきます。

### タケエイグループ企業行動規範

私たちは、環境事業を営む企業としての社会的責任を自覚し、すべての法令を誠実に遵守するとともに、社会的良識をもって、次のとおり行動します。

1. お客様第一主義で行動します
2. 環境とのバランスに配慮します
3. 企業情報を適宜適切に提供します
4. 公正な競争を行います
5. 作業現場における安全の確保に努めます
6. 個性と能力を活かせる職場の形成に努めます
7. 反社会的勢力に対し、利益を供与しません

タケエイグループ企業行動規範は、ホームページで全文を公開しています。

<http://www.takeei.co.jp/takeei03.html>

## ステークホルダーとの関わり

タケエイグループの事業は、お客さま、株主、社員、取引先、行政および地域住民の方々等、さまざまなステークホルダーとの関わりの中で成り立っています。

事業活動における法令遵守、雇用の創出、安全確保、環境保全、地域社会への貢献など、ステークホルダーの皆さまからの期待に応えることで、当社グループの信頼の獲得に努めています。今後もステークホルダーからの信頼をより強固なものとするため、さまざまな形で対話を実施し、その声を経営に反映すべく取り組みを重ねていきます。



# 経営体制

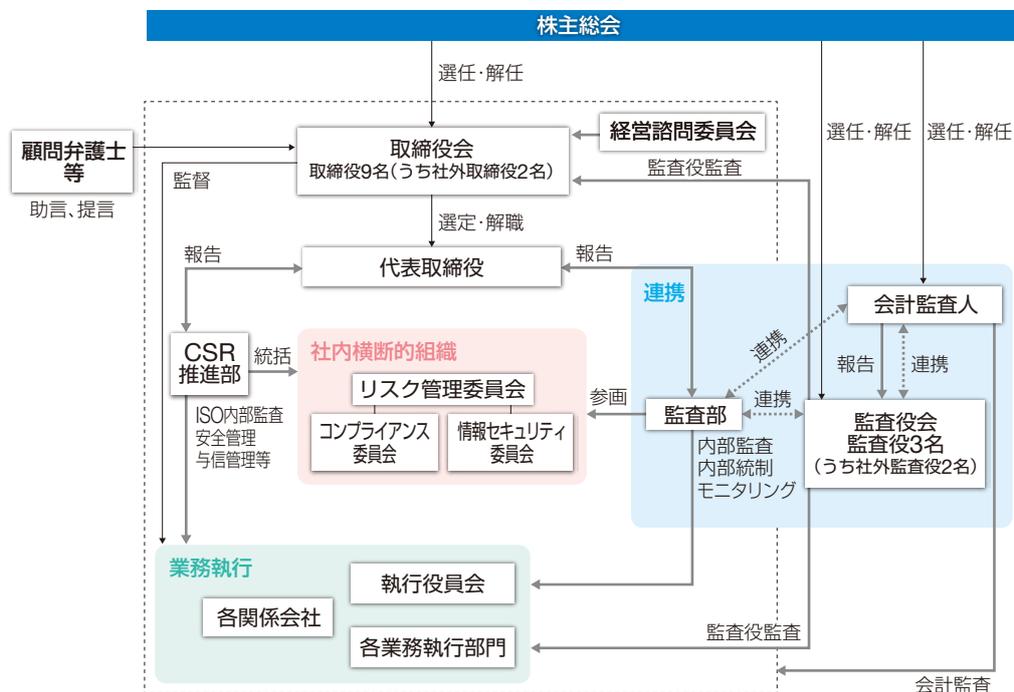
タケエイグループでは、社会から信頼される企業であり続けるために、健全かつ透明な視点から経営体制を整備・運用するとともに、コーポレート・ガバナンスとコンプライアンスの強化に取り組んでいます。

## コーポレート・ガバナンス

タケエイグループで手掛ける事業は、株主、社員、取引先、さらには当社グループの事業所周辺の地域住民の方々等、当社を取り巻くステークホルダーとの信頼関係のもと成立するものととらえています。従って当社グループでは、健全な経営の推進と社会的信頼に十分に応えるために、コーポレート・ガバナンスの着実な実施を重要な経営課題として位置づけています。

(株)タケエイの取締役会は社外取締役2名を含む9名の取締役で構成されており、取締役会規程に基づき経営に関する重要事項を審議・決定するとともに、取締役の職務の執行を監督しています。また、社外監査役2名を含む3名の監査役も取締役会に出席し、取締役の職務の執行状況について、法令・定款に違反していないことのチェックを行うとともに、必要に応じて意見を述べています。常勤監査役は取締役会以外の重要な会議にも出席し、取締役等への意見聴取や資料の閲覧、主要な事業所への往査等を通じて取締役の業務執行の適法性、妥当性を監査しています。

コーポレート・ガバナンス体制(2017年7月末現在)



## コンプライアンス推進体制

(株)タケエイでは、グループ横断的な視点からコンプライアンスを推進するために「コンプライアンス委員会」を設置し、法令等遵守の徹底に努めています。また、「コンプライアンス・ヘルプライン(内部通報制度)」を設け不正行為等の早期発見と是正、予防に取り組んでいます。

# タケエイグループの再資源化ソリューション

## 産業廃棄物処理事業

建設現場等  
(廃棄物発生場所)



収集運搬

755,025t\*1

建設現場や工場などから排出される産業廃棄物は収集され、リサイクル工場まで運搬されます。

中間処理

740,768t\*2

リサイクル工場に運ばれた産業廃棄物は、人の手や機械・重機で選別し異物を取り除いた後、品目ごとにリサイクルに適した品質・ロットに整えられます。



混合廃棄物

手選別

機械選別

破碎



手作業によりリサイクル品(廃プラスチック、紙くず、金属くず等)を抜き取り、選別する



廃棄物の大きさ(サイズ)と重さ(比重)を振動と風力で選別する



リサイクルに適した大きさ(サイズ)にするため破碎する

## 再生可能エネルギー事業

未利用材



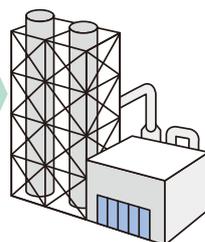
間伐材・りんご剪定枝等

94,189t

木質チップ加工工場



バイオマス発電



発電

発電量

51,883MWh

(バイオマス発電と太陽光発電による売電量)

タケエグループは、廃棄物の種類に合わせて適正な処理とリサイクルを推進することで、資源循環型社会の形成に貢献しています。

## リサイクル

リサイクル量  
**671,663t**

リサイクル工場で処理されたものは、製造工場（メーカー）へと運ばれ、建設資材や各種製品の原材料として生まれ変わります。

## 最終処分

**97,351t**\*4

再資源化に適さない廃棄物や残渣物は、最終処分場で埋立処分を行います。当社グループが管理・運営している最終処分場は、環境への負荷を徹底的に排除しています。

- \*1 当社グループが保有する車両で運搬した量です。
- \*2 当社グループのリサイクル工場で受け入れ、処理した量です。（他社車両による受入量も含みます。）
- \*3 当社グループのリサイクル工場から発生した最終処分量です。
- \*4 当社グループの最終処分場で受け入れ、埋め立てした量です。（他社からの受入量も含みます。）

## 最終処分

埋立処分量  
**69,105t**\*3

### 土木資材

再生砕石：  
RC-40、砂品等  
生産量 **407,618t**



破砕機で一定のサイズにまで砕いたコンクリートや、機械選別によりサイズを揃えた土砂等は、路盤材や埋め戻し材として生まれ変わります。



土木資材

#### グループ各社生産比率

(株)池田商店 44.6%、(株)タケエ 35.2%、  
(株)信州タケエ 10.5%、東北交易(株) 9.7%

### バイオマス発電燃料、堆肥原料等

生産量 **70,386t**



破砕機で一定のサイズに砕かれた廃木材等は、発電用の燃料として利用されます。剪定枝等は破砕後に熟成・発酵させ堆肥として使用されます。



エネルギー

#### グループ各社生産比率

(株)タケエ 54.6%、  
(株)タケエグリーンリサイクル 41.2%、  
その他子会社 4.2%

### 鉄・非鉄原料

生産量 **25,427t**



鉄骨やパイプ等の金属は分解・切断され、種類別に分けられます。製鉄メーカー等で原材料として利用され、再び鉄・非鉄製品となります。



鉄

#### グループ各社生産比率

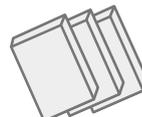
(株)タケエ 63.8%、(株)タケエメタル 25.9%、  
その他子会社 10.3%

### 石膏ボード原料、セメント系固着剤原料

生産量 **61,906t**



石膏ボードは特殊な処理によって石膏粉と紙に分けられます。石膏粉は再び石膏ボードとして生まれ変わり、建材として使用されます。



石膏ボード

#### グループ各社生産比率

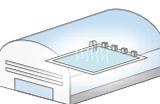
(株)ギプロ 70.1%、(株)グリーンアローズ関東 20.1%、  
(株)グリーンアローズ東北 9.7%、  
その他子会社 0.1%

### 廃棄物発電・サーマルリサイクル燃料

生産量 **57,865t**



混合廃棄物の機械選別の過程で発生する軽い可燃系のもの（紙・プラスチック等）は、圧縮処理され、燃料として利用されます。



熱利用

#### グループ各社生産比率

(株)タケエ 93.7%、(株)信州タケエ 3.2%、  
その他子会社 3.1%

### セメント燃料・原料

生産量 **26,696t**



廃プラスチックや可燃物の中で品質基準を満たしたものは、破砕・圧縮等の処理が行われ、セメント等を製造する際の燃料として利用されます。



セメント

#### グループ各社生産比率

(株)タケエ 95.3%、(株)グリーンアローズ東北 2.8%、  
その他子会社 1.9%

### 製紙原料

生産量 **6,861t**



ダンボールや石膏ボードの紙の部分は圧縮処理され、製紙メーカーで原材料として利用され、再びダンボール等の紙製品となります。



ダンボール

#### グループ各社生産比率

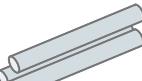
(株)ギプロ 39.4%、(株)タケエ 37.9%、  
(株)グリーンアローズ関東 10.6%、  
(株)信州タケエ 6.9%、その他子会社 5.2%

### 再生プラスチック原料

生産量 **7,184t**



塩ビ管やタイルカーペット等の廃材は、破砕・圧縮等の処理が行われます。塩ビ管等のプラスチック製品の原材料や、燃料として利用されます。



塩ビ管

#### グループ各社生産比率

(株)タケエ 97.7%、(株)信州タケエ 2.3%

### 製鉄副資材（エコ・フォーム）

生産量 **7,720t**



廃棄物処理の際に発生する粉じん（ホコリ）は、ほかの廃棄物と混ぜて固め、エコ・フォームとなり、製鉄用のフォーミング抑制材として利用されます。



鉄

#### グループ各社生産比率

(株)タケエ 100%

# 環境とのかかわり

タケエイグループでは「タケエイグループ環境基本方針」を掲げ、環境推進体制を整備し、環境活動を推進しています。また、グループ各社で環境目標を設定し、継続的な改善に向けて取り組みを進めています。

## 環境基本方針

### タケエイグループ環境基本方針

タケエイグループは、環境に携わる企業として、企業と社会がともに持続的成長が可能な未来を実現すべく、次の4つを活動テーマに掲げ積極的に取り組みます。

1. 資源循環型社会の実現に貢献します。
2. 低炭素社会の実現に貢献します。
3. 地域や社会に根ざした環境活動を推進します。
4. 環境活動の推進体制を充実します。

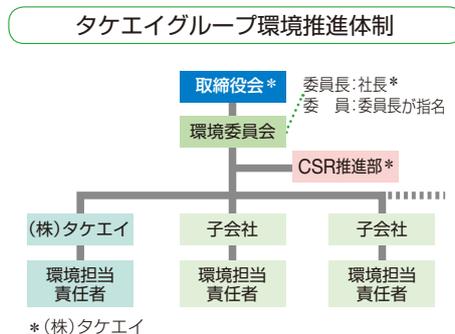
タケエイグループ環境基本方針は、ホームページで全文を公開しています。

<http://www.takeei.co.jp/environment01.html>

## 環境推進体制

タケエイグループでは、地球環境の保全に配慮した企業活動に取り組むため、環境推進体制を整備しています。

グループ全体で環境活動を推進するため、(株)タケエイの代表取締役社長を委員長に環境情報の共有や協議を行う場として「環境委員会」を設け、さらにグループ各社に「環境担当責任者」を設置しています。



## マネジメントシステムの運用

タケエイグループでは、環境マネジメントを推進する有効なシステムとして、環境に関する国際規格であるISO14001やエコアクション21の認証を取得しています。

2016年に行われた(株)タケエイのISO14001における外部審査では不適合はなく、エコアクション21における外部審査でも軽微な指摘が3点出たものの、不適合はありませんでした。また、事業に関連する環境法規制等についても、引き続き遵守を徹底していきます。

### 環境マネジメントシステム認証の取得状況

環境認証の種類	取得組織	取得(登録)年月
ISO14001	(株)タケエイ*1	2001年2月
	(株)北陸環境サービス*2	2004年7月
	(株)信州タケエイ*3	2001年12月
	富士車輛(株)*4	2001年3月
	(株)タケエイグリーンリサイクル*5	2007年6月
エコアクション21	イコールゼロ(株)	2001年3月
	(株)タケエイ東京リサイクルセンター	2007年9月
	(株)池田商店	2007年8月
	(株)タケエイメタル	2017年4月

\*1 産業廃棄物の処理業務における営業部門、収集運搬部門、最終処分部門、管理部門、中間処理部門(川崎RC/四街道RC)

\*2 本社および平栗工場

\*3 本社、環境事業、解体事業 \*4 本社 \*5 本社、富士ヶ嶺工場

## 環境目標と実績

タケエイグループでは、毎年度事業活動における環境目標を策定しています。また、年度末には達成状況を把握・評価し、次年度の活動の改善に活かします。

### 2016年度 子会社における環境目標とその達成状況

目標達成 😊 目標に届かず ☹️

項目	社名	目標設定内容	年度目標	達成状況/未達理由	通期
リサイクル率の向上／最終処分量の低減	(株)タケエイメタル	リサイクル率の向上	90%以上	97%	😊
	イコールゼロ(株)	処理廃棄物の受入量増加	2,300t/月以上	2,624t/月	😊
	(株)信州タケエイ 安曇野リサイクルセンター	リサイクル率の向上	88%以上	94.6%	😊
	(株)タケエイグリーン リサイクル	堆肥生産量増加	5,500袋/日以上	3,725袋/日 【未達理由】開散期における受注が落ち込んだため	☹️
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	(株)池田商店	CO <sub>2</sub> 排出量の削減 電気使用量(工場)	195,500kWh以下	188,707kWh	😊
		CO <sub>2</sub> 排出量の削減 軽油使用量(収集運搬車)	220,000ℓ以下	212,260ℓ	😊
	(株)北陸環境サービス	中間処理施設の 最大デマンド値の低減	最大デマンド値 150kW以下	129.8kW	😊
		水処理施設の 最大デマンド値の保持	最大デマンド値 70kW以下	66.2kW	😊
	富士車輛(株)	電力消費量の削減	2012～2014年度比 5%削減	2012～2014年度比 1.3%削減 【未達理由】受注増の影響で溶接作業等が増加したため	☹️
	環境保全(株)	エコキャップ運動への取り組みによるCO <sub>2</sub> 排出量の削減	CO <sub>2</sub> 削減量50kg以上	CO <sub>2</sub> 削減量44.25kg 【未達理由】取り組みの周知不足	☹️
その他	(株)ギプロ	再生石膏粉の品質維持	●受入先からのクレーム0件 ●製品品質向上	クレーム0件 不適合物等の除去徹底、外部検査問題なし	😊
	(株)グリーンアローズ関東	近隣への環境配慮	工場周辺の美化活動等を1回/月以上実施	1回/月以上実施	😊
	東北交易(株)	社員の環境意識の向上	社員への環境教育1回/年以上実施	計画通り実施	😊
	(株)北陸環境サービス	里山づくり活動や地域貢献活動を通じた環境意識の高揚	延べ活動参加社員数250人以上	446人	😊
	(株)津軽バイオマスエナジー	バイオマス発電への理解向上	一般者の施設見学	市民見学受け入れ1,086名(97団体)	😊
	富士車輛(株)	環境配慮型製品登録および販売	●登録 18件以上 ●受注 650百万円以上	●登録 19件 ●受注 1,813百万円	😊
	(株)アースアプレイザル	環境教育の推進および環境法規制等の遵守	●年2回の安全大会実施 ●環境法規制等の情報の定例的発信	計画通り実施	😊

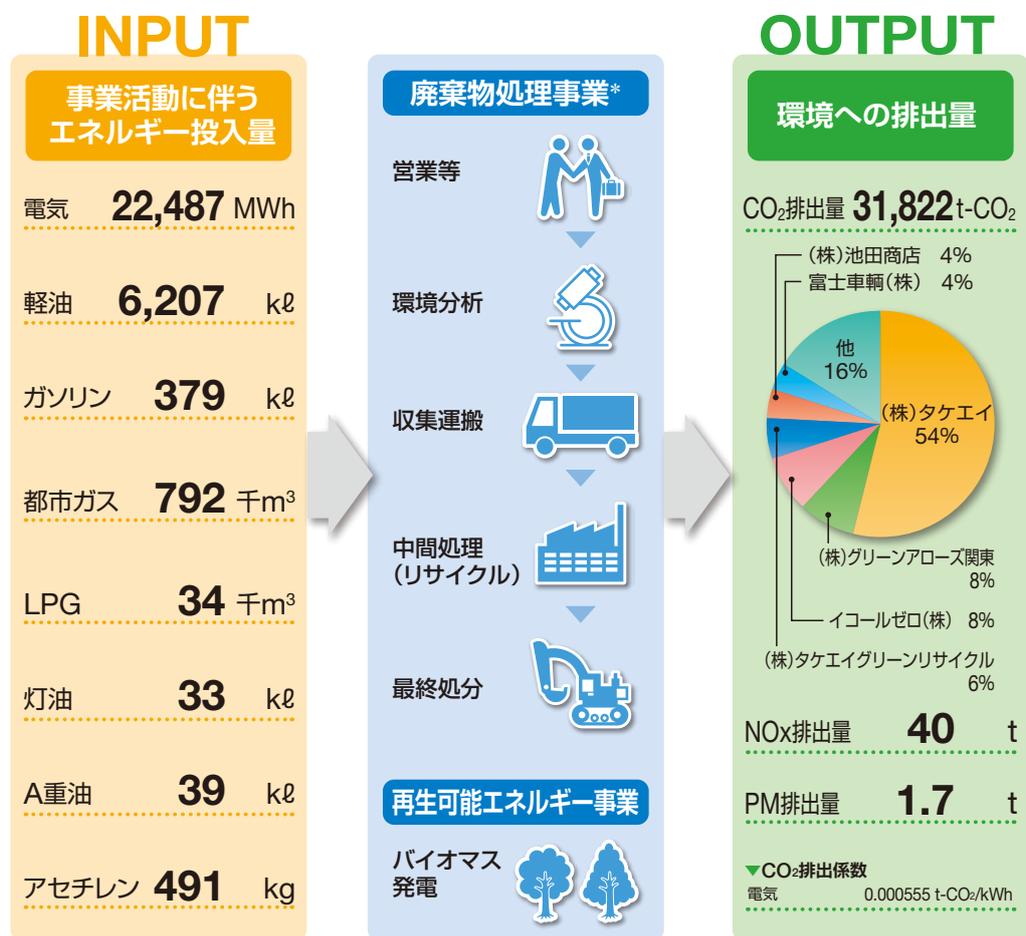
※(株)タケエイの環境目標とその達成状況は、P21、22ページで紹介しています。

# 事業活動に伴う環境負荷

タケエイグループは、廃棄物処理業をはじめとする事業活動においてエネルギーを使用し、CO<sub>2</sub>などを発生させて環境に負荷を与えています。これら環境負荷の全体像を適切に把握し、環境負荷低減への具体的な取り組みに活かしていきます。

## タケエイグループのマテリアルフロー

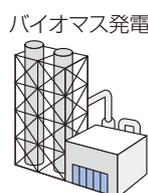
タケエイグループは、廃棄物の発生段階から適正処理に至るまで幅広いサービスを提供しています。また、未利用材等を活用した再生可能エネルギー事業により、地球にやさしいエネルギーの創出にも貢献しています。こうした事業活動に伴うエネルギー使用量の全体像を把握・管理し、さまざまな省エネ活動を実施することで環境負荷低減に取り組んでいます。



\* 収集運搬・中間処理(リサイクル)および最終処分の詳細については、P15-16をご覧ください。

### 環境にやさしい発電

### バイオマス発電によるCO<sub>2</sub>削減効果



バイオマス発電 → 発電(発電量ベース)  
**57,975MWh**

事業活動に伴うCO<sub>2</sub>排出量に相当する量のバイオマス発電を行っています。

化石系燃料の発電と比較したCO<sub>2</sub>削減効果  
**33,207t**  
CO<sub>2</sub>排出係数 0.000573 t-CO<sub>2</sub>/kWh\*で算出  
(\*東北電力(株) 2011~2015年の実排出係数の平均値)

タケエイグループの事業によるCO<sub>2</sub>排出量

≡ **31,822t**

# 環境負荷低減活動

タケエイグループは、環境に携わる企業として、自らの事業活動から生じる環境負荷の低減にも取り組んでいます。事業活動と環境とのバランスに配慮し、省エネルギーやCO<sub>2</sub>削減などに積極的に取り組むことで、周辺の自然環境、住環境への負荷低減を推進しています。

## 収集運搬における取り組み

タケエイグループは、廃棄物の収集運搬に使用する車両を約410台有しています。グループ各社で、デジタルタコメーターを利用したエコドライブの推進や、環境配慮型車両への順次入れ替え等の取り組みを通じて、CO<sub>2</sub>排出量の削減に努めています。



車両にデジタルタコグラフを搭載



石川県エコドライブ推進事業所認定証

(株)北陸環境サービスでは、2017年3月に石川県エコドライブ推進事業所の認定を取得しました。車両の燃費を管理し、改善に向けた取り組みを行う等、職場全体を通じてエコドライブを推進しています。

## 事業所での取り組み

タケエイグループでは、ハイブリット型重機の導入や、効率的な設備稼働により環境負荷低減を図っています。

機械設備のある事業所では、デマンド監視装置を導入することで消費電力を「見える化」し、ピーク抑制や省エネ対策に役立っています。

(株)タケエイ物流管理部では、2016年12月の事務所移転に伴い、新たにデマンド装置を設置しました。消費電力がリアルタイムで見られることで、省エネ意識の向上につながっています。



デマンド装置の設置

## オフィスでの取り組み

オフィスでの電気使用量を削減するため、クールビズの実施や空調の温度管理等を行っています。(株)タケエイ本社ではサーキュレーターを6台導入し、フロア内の室温を均一にすることで省エネにつなげています。

## エコアクション21の認証を取得

(株)タケエイメタルでは、2017年4月にエコアクション21の認証を取得しました。事業活動全体を通して、省エネや省資源等のための取り組みを行い、継続的に改善していくことで環境負荷低減に取り組んでいます。

# エコ・ファーストの取り組み

タケエイグループは、環境大臣に認定された環境先進企業として、廃棄物・リサイクル対策や地球温暖化対策などの取り組みを推進しています。

## 「エコ・ファースト制度」とは

「エコ・ファースト制度」とは、企業が地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル対策など、自らの環境保全に関する取り組みを環境大臣に対し約束する制度です。タケエイグループは、2008年11月に廃棄物処理業界として初めてエコ・ファースト企業の認定を受けました。



## 第7回「『エコとわざ』コンクール」で「タケエイ賞」を贈呈

エコ・ファースト認定企業39社から成るエコ・ファースト推進協議会では、環境意識の啓発を目的として、毎年小中学生を対象とした「エコとわざ」コンクールを開催しています。

2016年度は「美しい地球を未来につなぐために、私たちは何をしたらよいのかな?!」というテーマに、953点の応募がありました。タケエイグループは、その中から、静岡市の中学生 近藤峻さんが考えた「残そう化石燃料 使おう自然エネルギー 皆で止めるぞ 地球温暖化」をタケエイ賞(企業賞)として選定しました。



第7回「エコとわざ」コンクールにて「タケエイ賞」を贈呈

2016年12月には同コンクール表彰式が行われ、当社グループより近藤さんに賞状と記念品を贈呈しました。

## 2016年度タケエイグループ「エコ・ファーストの約束」の取り組みと実績

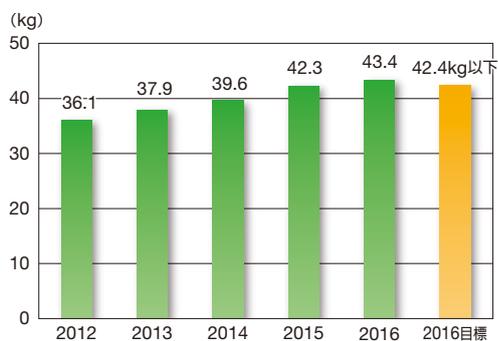
タケエイグループが「エコ・ファーストの約束」に掲げている「低炭素社会」「3R」「環境教育」について、2016年度の進捗状況をご報告します。

目標達成 (😊) 目標に届かず (😞)

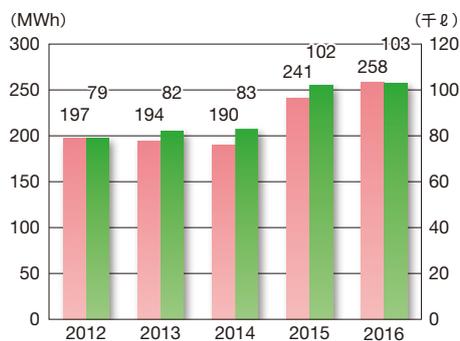
	約束	取り組み内容	評価	結果
低炭素社会	収集運搬効率の向上におけるCO <sub>2</sub> 削減	● エコドライブ運転の実施、デジタルタコグラフのデータを活用したエコドライブ指導、定期的な車両点検実施による燃費向上	😞	目標30.2kg-CO <sub>2</sub> に対し、31.1kg-CO <sub>2</sub>
	事業活動におけるCO <sub>2</sub> 削減	● 低燃費車両/重機の導入、処理設備の改修による効率化、設備稼働時間の短縮	😞	右記グラフ①参照
	オフィス内の燃料・電気使用量削減	● クールビズの実施、空調の温度管理徹底	😊	計画どおり実施(右記グラフ②参照)
3R	豊富な収集運搬メニューによるリサイクル推進	● 小口巡回回収システムの整備	😊	計画どおり実施
	建設混合廃棄物のリサイクル推進	● 各種機械選別設備や再資源化設備の導入によるリサイクル推進	😞	目標90.0%に対し、85.4%
	連携スキームによる循環的資源利用の促進	● バイオマス発電の連携スキーム、廃石膏ボードリサイクルの連携スキーム	😊	バイオマス発電スキーム9~12ページ参照
3R	廃石膏ボードのリサイクル推進	● (株)ギプロ/(株)グリーンアローズ関東/(株)グリーンアローズ東北の安定稼働、受入強化	😊	右記グラフ③参照
	タケエイグループによるリサイクル推進	● 単品専門のリサイクル工場の充実(株)ギプロ/(株)池田商店/(株)信州タケエイ/(株)タケエイメタル/東北交易(株)/(株)グリーンアローズ関東/(株)グリーンアローズ東北/(株)タケエイグリーンリサイクル)	😊	右記グラフ④参照
環境教育	分別排出支援	● 「分別支援チーム」による分別教育/分別デモンストレーションの実施	😊	右記グラフ⑤~⑧参照
	環境保全教育	● 社外セミナー/社内勉強会への参加、資格取得支援制度の実施	😊	資格取得者35名

## 低炭素社会

① 産業廃棄物の搬出量 1tあたりのCO<sub>2</sub>排出量

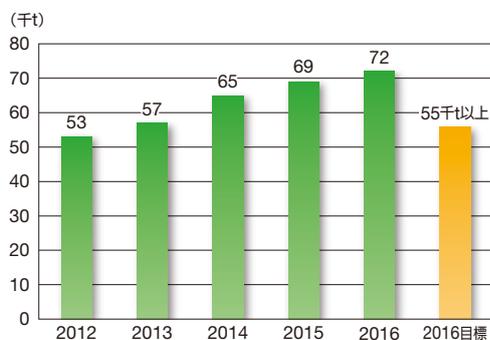


② オフィスにおける電気・燃料使用量

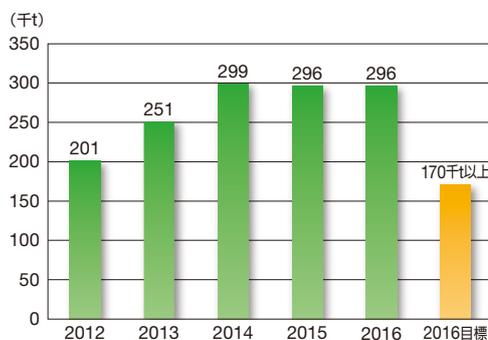


## 3R

③ 廃石膏ボードの受入量

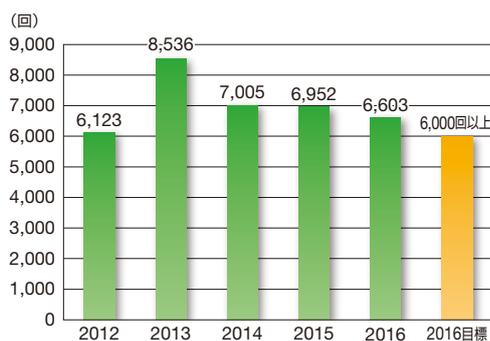


④ 単品専門リサイクル工場での搬出(再資源化)量

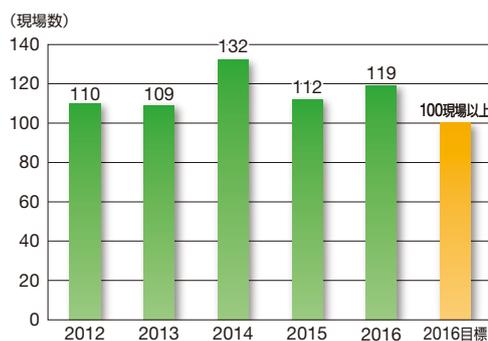


## 環境教育

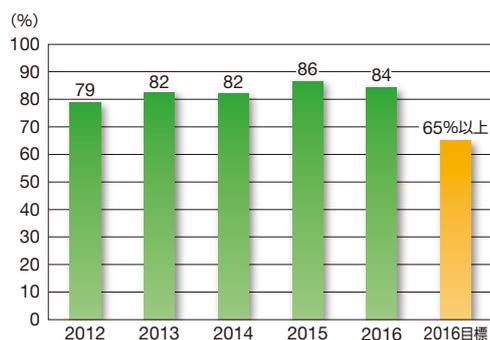
⑤ 分別支援活動における現場訪問回数



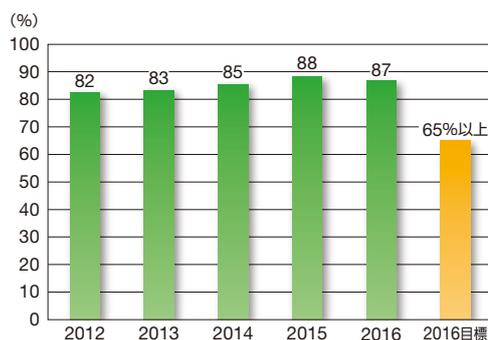
⑥ 分別支援活動における新規支援現場数



⑦ 分別支援活動を実施した現場における平均分別率(年度毎)



⑧ 分別支援活動を実施した現場における平均分別率(累計)



# お客さまのために

タケエイグループは、グループ各社がそれぞれの強みを活かした事業活動を展開しています。廃棄物の処理・リサイクルのほかにも、多様化するニーズに対応できるさまざまなサービスをお届けすることで、お客さまにご満足いただけるよう努めています。

## 品質管理における取り組み

(株)タケエイでは、品質マネジメントシステム(ISO9001)の認証を取得しており、2015年9月のISO規格改訂に伴う新規格への移行も2016年度中に完了しています。当社では、廃棄物の処理業務を認証範囲として、それぞれの部門でPDCAサイクルによる品質向上を目指した取り組みを行っています。

当社のほかにも、環境保全(株)および富士車輛(株)においても同認証を取得しています。引き続き、品質管理体制を強化するとともに、顧客満足のさらなる向上に取り組んでいきます。



ISO9001認証

## 建設現場における取り組み

(株)タケエイでは、お客さまのご要望に応じて建設廃棄物の分別活動をサポートしています。

専門のチームが建設現場を定期的に巡回し、廃棄物の分別状況や保管状況を確認し、お客さまの状況に応じた改善方法をご提案しています。また、保管された混合廃棄物の中からまだ分別できるものを取り分けていくデモンストレーションを行い、現場監督や作業員の方々に廃棄物の分別知識を高めていただけるよう努めています。

現場における分別の徹底を支援するとともに、環境意識の向上を図ることで、お客さまの環境負荷低減にも貢献しています。



さまざまな掲示物による分別方法のご案内

## (株)ギプロが稼働時間を延長

(株)ギプロは、2020年東京オリンピックに向けて活発化する建設業界における、お客さまの多様な工程運営にマッチングする受け入れ態勢整備が重要と考え、平日の稼働時間を延長しました。これにより平日7時から19時まで、ご予約などの煩わしさなくご利用いただけるようになりました。今後もすべてのお客さまがいつでも「より便利に・より快適に・より効率よく」工事を進捗いただけるよう、お客さまの良きパートナーとして、『お客さま第一主義』を旨に社員一丸で取り組んでいきます。

## 優良産廃処理業者として認定

(株)信州タケエイは、2016年12月に長野県の「優良産廃処理業者」として認定されました。これにより、タケエイグループの優良産廃処理業者は、すでに認定を受けている(株)タケエイ、(株)北陸環境サービス、(株)池田商店、イコールゼロ(株)を含め、5社になりました。

また、(株)池田商店は2016年7月に横浜市の「がれき類再資源化施設」の認定登録を受けました。

この制度は、同市が発注する建設工事から排出されたがれき類を認定登録された事業者で処理することによりリサイクルを推進するものです。同社は、神奈川県および川崎市においても同様の登録を受けています。

タケエイグループは、引き続きお客様に安心して当社グループの廃棄物処理サービスをご利用いただけるよう法令遵守を徹底し、産業廃棄物の適正処理を推進していきます。

### 優良産廃処理業者認定制度とは…

通常の許可基準よりも厳しい基準に適合した優良な産廃処理業者を、都道府県・政令市が審査して認定する制度。  
(環境省ホームページより)

## 廃タイルカーペットのクローズドリサイクル

(株)タケエイ東京リサイクルセンターでは、廃タイルカーペットの再資源化に取り組んでいます。オフィスビルの解体や改修工事等で排出される廃タイルカーペットを、表面の繊維部分と基材の塩化ビニル樹脂部分に分離させます。分離させた繊維部分はエコ・フォーム(製鉄用のフォーミング抑制材)に加工し、塩化ビニル樹脂部分は製品原料として再びタイルカーペットメーカーに供給しています。当社では、繊維部分と塩化ビニル樹脂部分の分離に独自の処理方法を採用することで、より高品質なクローズドリサイクルを実現しています。



繊維部分と塩ビ部分を分離

## 収集運搬における取り組み

(株)タケエイでは、廃棄物の収集・運搬業務の効率化を図るため、タブレット端末を導入しました。現場で廃棄物を保管するためのコンテナ容器の個体管理や、電子マニフェストの入力作業等に活用しています。

従来の携帯電話端末と比べて大きな画面表示が可能になったことで、お客さまの電子マニフェスト確認作業の負担が軽減されました。また、精度の高いコンテナ容器の個体管理が可能になったことで、繁忙期のコンテナ需要の増加にも対応できるよう努めています。

今後も、より多くのお客さまにご満足いただけるよう、業務の改善や効率化を図っていきます。



タブレット端末によるコンテナ容器の個体管理

# 社員ののために

タケエイグループは、社員一人ひとりが生き生きと働き、その意欲と能力を最大限に発揮することができる職場づくりを目指しています。また、各種休暇制度の活用を推進し、ゆとりある働き方ができる風土づくりにも努めています。

## 休暇制度等の整備

(株)タケエイでは社員が柔軟に働くことができるよう、さまざまな休暇制度を整えています。年次有給休暇の付与のほか、育児休業や介護休業等の制度利用も推奨し、社員がワークライフバランスを保ちながら働くことができるようサポートしています。また、再雇用制度により、定年退職者が引き続きその技能と経験を活かして活躍しています。

		2014年度	2015年度	2016年度
有給休暇取得率		36%	38%	39%
産前産後休暇 取得人数	男	0人	0人	0人
	女	2人	2人	8人
育児休業 取得人数	男	0人	0人	0人
	女	1人	2人	8人
再雇用人数	男	5人	4人	8人
	女	0人	0人	1人

※データは(株)タケエイ在籍者が対象

## さまざまな教育・研修体制

(株)タケエイでは、社員一人ひとりの能力・知識の向上を図るため、さまざまな教育・研修を行っています。新入社員研修や管理職研修などの階層別研修をはじめ、事業と関連が深い廃棄物処理法に関する研修や、情報セキュリティ研修といった専門的教育・研修も行っています。

また、当社ではエルダー制度を導入しています。年齢の近い若手社員が新入社員の実務指導や職場生活上のフォローを行うことで、新入社員の教育のみならず、若手社員のコミュニケーションスキルや実務指導力の向上も図っています。



新入社員研修の様子

## 資格取得支援制度

(株)タケエイでは資格取得支援制度を設けており、受験費用の補助や報奨金の支給を行うことで社員の自己啓発を推進しています。環境社会検定(eco検定)をはじめ、業務を行う上で有用な資格の取得を幅広く推奨しており、2016年度は延べ35名の社員がこの制度を利用して資格を取得しました。

種別	資格名称	2016年度取得者数
国家資格	公害防止管理者、運行管理者、衛生管理者、基本情報技術者など	13名
公的資格	ビジネスマネージャー検定、個人情報保護士、簿記検定など	9名
民間資格	ビジネス会計検定試験、環境社会検定試験(eco検定)など	13名

## ストレスチェックの取り組み

(株)タケエイでは、メンタルヘルス対策の一環として、ストレスチェック制度を導入しています。ストレスチェックの結果は職場環境の改善に活用するほか、希望者に対し産業医との面談の機会を設けることで、社員のメンタルケアを行っています。

## 救命講習の実施

花巻バイオチップ(株)では、2016年6月に花巻消防署のご協力のもと、事業所内で救命講習を実施しました。講習には21名が参加し、人形を使った心肺蘇生法や、近年設置が増えているAED(自動体外式除細動器)の操作方法等、緊急時における応急手当の手順を学びました。人命救助の知識と技術を習得することで、同社で働く社員をはじめ、近隣の地域においての不測の事態にも備え、今後もお役に立てるよう活動していきます。



心肺蘇生法の実技講習の様子

## ハラスメントの防止

(株)タケエイでは、就業規則をはじめとした各種規程でハラスメントの防止に向けた規定を定めるとともに、管理職者に対する教育・研修を実施するなど、ハラスメントに関連する法令遵守の徹底を図っています。

非管理職者に対してはコンプライアンス・ヘルプライン通報窓口やセクハラ相談窓口といった各種窓口を設置し、不正行為等の早期発見に努めています。同時に、事実調査にあたっては通報者が特定されることのないよう細心の注意を払い、通報による不利益を被ることがないようにしています。

### VOICE



(株)池田商店  
事業部 大型ドライバー  
安藤 麻美

### 産休・育休の制度を利用しました。

2016年夏から産休・育休をいただき、2017年4月から復帰しました。ドライバーは職種柄、人の入れ替わりも多いですし、産休・育休前は、ほかの女性事務員さんと同じようにお休みがいただけるのだろうか、またドライバーとして元の職場に復帰できるのだろうか、といった不安が少しありました。しかし、復帰後も変わらずドライバーとして、職場の方々から温かく迎えていただきました。復帰してからは、仕事時間が現場の状況に左右されることがあるので、家庭と仕事との両立の面で心配もあったのですが、どうしても必要な時には上司や同僚の方々からサポートしていただけるので、安心して働くことができます。こういった働きやすい職場環境を、今回の経験を通して引き継いでいきたいと思っています。

# 安全・衛生のために

安全と衛生の確保は企業活動の大前提であり、社員が安心・安全に働ける職場づくりのため安全衛生基本方針のもと、無事故・無災害を目指した取り組みを行っています。

## タケエイグループ安全衛生基本方針

タケエイグループでは、「安全はすべてにおいて優先する」を基本理念に、前年度の結果を総括し毎年安全衛生活動計画を策定しています。

2017年度からは、タケエイグループの現状を踏まえ、多業種に渡る子会社を包括した新たな方針を策定しました。また安全に作業するにあたり、行動の手引きとなるよう具体的な6つの活動と7つの行動を加えました。新たな安全衛生基本方針のもと、さらなる事故の減少に努めていきます。



### タケエイグループ安全衛生基本方針

#### 【理 念】

#### 「安全はすべてにおいて優先する」

作業や業務においては、リスクの削減を最優先して安全の確保を行う。

#### 【基本方針】

無事故無災害を目的とし、リスク削減について以下を基本方針とする。

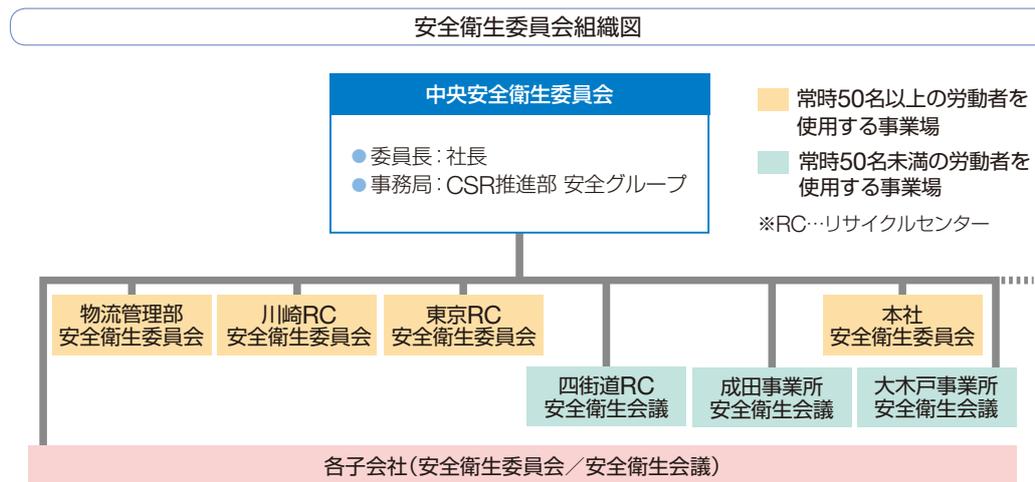
1. 法令や規程等を守ることによって、安全で衛生的な職場環境を形成する。
2. 技能の向上とその継承を図ることによって、安全作業と技術を身に付ける。
3. あらかじめ作業の有害・危険性を捉え、事前に安全衛生対策を講じる。

#### 【行動指針】

1. 法令に従った管理を実施する。
2. 基本方針に従い期間的な目標を掲げ、その目標を達成するための計画と効果的な安全衛生活動を実施する。
  - ① 環境整備活動 — 5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰け)活動などで職場環境を整え、事故災害の要因を作らない。
  - ② 危険の予見活動 — リスクアセスメントや危険予知活動を実施し、リスクの低減を図る。
  - ③ 再発防止活動 — 発生した事故災害・類似事故・ヒヤリハットの要因と背景を明らかにし、再発・類似事故災害の防止対策を実施する。
  - ④ 教育訓練活動 — 安全な作業が身に付くように、手作業、車両運転、機械重機の操作などの技能教育・技能訓練を行う。
  - ⑤ 健康管理活動 — 労働時間と作業環境から健康を阻害する要因を調査し、健康の維持増進活動を行う。
  - ⑥ 情報管理活動 —
    - 暗黙のルールや手順を明文化し、関係者に伝える。
    - 安全衛生に必要な情報を収集し、掲示するなど周知する。
    - 文書や活動の記録を適正に保管管理する。
3. 作業・業務に従事する一人ひとりが安全衛生を意識し行動する。
  - ① 規定、ルール、手順を守る。
  - ② 焦り、急ぎ、横着、近道行動を起こさないように意識する。
  - ③ 手作業、車両運転、機械重機操作などの技能向上を目指す。
  - ④ 資材、道具、車両、機械を大切に扱い、手順に沿って慎重に作業する。
  - ⑤ 定められた保護具を装着し、労働災害や健康阻害を防止する。
  - ⑥ 危険に遭ったり、危険な状態や作業を見かけたら必ず報告する。
  - ⑦ 生活習慣やストレス対策などを意識し、健康の維持増進を継続的に行う。

## タケエイグループ安全衛生推進体制

タケエイグループでは、職場の安全衛生を確保するために中央安全衛生委員会の体制を整備しています。同委員会は全社的な見地から、グループ全体の安全衛生に関する事項を協議する場として設置しており、社員の労働災害の防止、健康の維持・増進や快適な職場づくりを推進しています。また中央安全衛生委員会の審議内容は、グループウェアにて周知しています。



## 安全に関わる教育訓練活動

タケエイグループでは、社員に対して安全に関わるさまざまな教育訓練を実施しています。2016年にはグループ各社で、重機の教育訓練を行いました。また、物流管理部の乗務員に対しては、車内に取り付けた4台のウェブカメラで乗務員本人の運転を録画し、自身でその映像を見ることにより、運転の基本動作等の実施状況を確認させ、運転の質を高める教育を行っています。今後はさらにアイトラッキング等の機器を使用し、熟練技能者の技術を継承するための教育を検討する等、さまざまな方面から安全の教育に努めていきます。



教育訓練活動(重機の教育訓練)

## 健康管理活動

(株)タケエイ本社では、産業医の指導のもと、社員の健康管理を推進するため、フロアの2か所に血圧計を1台ずつ設置しています。血圧は健康状態だけでなく精神状態からも影響を受けるので、職場でも各自血圧の管理を行えるように設置しました。また、全国労働衛生週間の際は、筋肉量や基礎代謝、体水分率を測定できる体組成計を設置するなど、社員の健康意識を高める活動を推進しています。



健康管理活動(血圧計の設置)

# 地域・社会とのかかわり

地域・社会とのつながりを大切にしながら、当社グループの特色を活かした地域貢献活動や地域住民との積極的なコミュニケーション活動を実施し、地域・社会とともに成長・発展していくことを目指します。

## 地域再生プロジェクトに試作車両を提供

富士車輛(株)は、2016年12月に滋賀県守山市で行われた、竹が繁茂する河川敷を子どもたちの遊び場に変える取り組みに、竹の幹や枝をチップにする特殊車両を提供して協力しました。この取り組みは、守山市北部の野洲川南流跡地の大川や周辺の水質と生態系の改善・回復を目指す「大川活用プロジェクト」の一環で、竹やぶを伐採し円形広場をつくるというものです。さらに伐採した竹をチップ化し、広場に敷き詰めたり、竹炭をつくって大川に沈めて水を浄化したりと有効活用する計画となっています。

同社の提供した特殊車両は、車両後部に取り付けた破砕機で幹や枝をチップにすることができるチップングロータリープレス車で、枝や竹をその場でチップ化できることが強みです。今回の取り組みでは、3時間半かけて3,000㎡の竹やぶを切り拓き、伐採した竹をすべてチップに変えました。



新しく開発されたチップングロータリープレス車  
"CUTICK - キュティック"

## 千年希望の丘植樹祭に参加

2016年5月、(株)タケエイ、環境保全(株)、東北交易(株)、(株)グリーンアローズ東北、(株)田村バイオマスエナジーの社員有志とその家族が、宮城県岩沼市で行われた「千年希望の丘植樹祭」に参加しました。

この植樹祭は岩沼市が主催する震災復興プロジェクトで、津波除けとなる「千年希望の丘」に植樹することで、津波の威力を減衰・分散させるとともに、避難場所や生物多様性の拠点として整備するというものです。タケエイグループからは計17名が参加し、約100本の苗木を植えることができました。



「千年希望の丘植樹祭」における植樹活動の様子

## 中学生の職場体験を実施

イコールゼロ(株)では、2016年8月に、長野市内の中学生3名の職場体験を実施しました。3日間という日程の中で、資源ごみ(ペットボトルやビン)の分別作業、リサイクル工場の水処理に関する体験、伝票整理やお茶出しといった事務作業などさまざまな業務を体験していただきました。



中学生3名を受け入れました

## 青森県立弘前中央高等学校で環境講演を実施

(株)津軽バイオマスエネルギーでは、再生可能エネルギー事業におけるCO<sub>2</sub>削減効果と地域社会貢献への理解をより深めていただくことを目的として、2016年10月に青森県立弘前中央高等学校にて「2016年度1学年職業人講話 地域資源活用型発電事業」というテーマで環境教育講演を行いました。参加した生徒からは「日本の発電事業の現状と再生可能エネルギーの活用の必要性がよくわかった。自分も環境保全への取り組みの大切さを友人に訴えていきたい。」などといった感想をいただき、同社の事業内容を知っていただくよい機会となりました。また同様の目的で、学生や地域住民、自治体といったさまざまな方々の発電所見学を積極的に受け入れています。



小学生親子を対象とした見学会の様子

## 多摩川河川敷清掃活動に参加

(株)タケエイ東京リサイクルセンターでは、2016年5月に大田区が主催する「多摩川河川敷清掃活動～グリーンアクションたまがわ～」に参加しました。多摩川の豊かな自然を守り続けることを目的に開催されている取り組みで、雑色ポンプ所地先のスタート地点から大師橋緑地東端のゴール地点までのおよそ2キロメートルのごみ拾いを行いました。当社からは、社員有志とその家族10名が参加し、清掃活動に汗を流しました。



多摩川河川敷清掃活動に参加した社員とその家族

## ひまわりの苗の植替えに参加

(株)田村バイオマスエネルギーでは、事業予定地の田村市大越町にて「牧野ひまわり会」が行っているひまわり活動に賛同し、2016年6月に苗の植替えに参加しました。

同会では20年以上にわたり活動を続けており、5月の種まき、6月の植替えを経て、8月には約3万本の満開のひまわりのもとお花見会を開催しています。さらに「ひまわりウェディング」という結婚式をはじめとするさまざまな行事も行われています。地域住民だけでなく県内外の方々の交流の場となっており、今後も地域住民の皆さまとともに環境活動に取り組んでいきます。



ひまわりの苗植替えの様子

# タケエイグループ 各社の取り組み

## (株)タケエイ 本社



### 港区クリーンキャンペーン

本社のある浜松町駅・大門駅周辺で定期的に行われている清掃活動に参加しました。

## (株)田村バイオマスエナジー



### さくらの里クリーンアップ作戦

地域の方・地元企業の方と一緒に、桜の名所である大滝根川周辺のごみ拾いをしました。

## (株)信州タケエイ



### 諏訪湖花火大会ごみ分別指導、道路清掃協力

地元で開催される花火大会で、来場者へのごみの分別案内や道路清掃を行いました。

## (株)北陸環境サービス



### カタクリ観察会の後援

地元の自然学校主催のカタクリ写生会を後援。環境教育の一翼を担っています。

## (株)信州タケエイ



### 塩尻市エコウォーク参加

塩尻市内をウォーキングしながら、ごみ拾いや外来植物の除去を行いました。

2016

4

5

6

8

## (株)タケエイ 塩浜リサイクルセンター

### 川崎市クリーン大作戦

川崎市主催の清掃活動に参加し、殿町夜光線沿いの歩道のごみ拾いをしました。



## タケエイグループの事業拠点(2017年7月末現在)

### (株)タケエイ

#### (株)タケエイ

本社：[東京都港区]  
東北支店：[宮城県岩沼市]

#### 東京リサイクルセンター

混合廃棄物のリサイクル工場[東京都大田区]

#### 川崎リサイクルセンター

混合廃棄物のリサイクル工場[神奈川県川崎市]

#### 塩浜リサイクルセンター

積替保管施設[神奈川県川崎市]

#### 四街道リサイクルセンター

混合廃棄物のリサイクル工場[千葉県四街道市]

#### 大木戸最終処分場

安定型最終処分場[千葉県千葉市]

#### 成田最終処分場

安定型最終処分場[千葉県成田市]

### 連結子会社

#### 環境保全(株)

計量証明事業、環境影響調査等  
本社：[青森県平川市]  
支店：[宮城県仙台市、東京都港区]

#### (株)津軽バイオマスエナジー

バイオマス発電事業[青森県平川市]

#### (株)津軽あつぷるパワー

小売電気事業[青森県平川市]

#### (株)花巻バイオマスエナジー

バイオマス発電事業[岩手県花巻市]

#### 花巻バイオチップ(株)

バイオマス燃料製造事業[岩手県花巻市]

#### (株)花巻銀河パワー

小売電気事業[岩手県花巻市]

#### 秋田グリーン電力(株)※

バイオマス発電事業[秋田県大仙市]

#### (株)グリーンアローズ東北

廃石膏ボードのリサイクル工場[宮城県岩沼市]

#### 東北交易(株)

汚泥・燃えがら・ばいじん・鉱さい等のリサイクル工場[福島県福島市]

#### (株)田村バイオマスエナジー※

バイオマス発電事業[福島県田村市]

#### (株)ギプロ

廃石膏ボードのリサイクル工場[埼玉県八潮市]

#### (株)タケエイエナジー&パーク

太陽光発電事業[千葉県成田市] / パークゴルフ場運営[千葉県千葉市]

#### (株)アースアプレイザル

環境調査、エンジニアリングレポート、不動産鑑定業[東京都千代田区]

タケエグループは地域・社会と共生する企業市民の一員として、豊かでゆとりのある地域・社会の実現を目指し、事業を展開する各地域の特性に応じたさまざまな活動に取り組んでいます。

**(株)北陸環境サービス**



**いしかわ環境フェアに出展**  
里山づくり活動を紹介するブースを出展し、約1,700名の方にご来場いただきました。

**(株)門前クリーンパーク**



**千枚田稲刈り**  
2016年度も白米千枚田の田植えと稲刈りに参加し、地元の方々とともに汗を流しました。

**イコールゼロ(株)**



**春休み  
子ども体験教室**  
産業廃棄物がどのように処理されているか、小学生17名に体験していただきました。

9

**(株)タケエ 東京リサイクルセンター**



**ビーチクリーンアップ  
in城南島2016**  
社員有志とその家族8名で、城南島にある「つばさ浜」のごみ拾いに参加しました。

10

**富士車輛(株) 本社**



**緊急事態訓練(油流出)を実施**  
環境リスクの低減に向けて、本社にて油の流出を想定した訓練を行いました。

11

**(株)池田商店**



**「水のふるさと  
道志の森基金」  
への寄附**  
地域貢献活動の一環として、寄附という形で道志川の水源林保全活動に協力しました。

2017 3

12

**環境保全(株)**



**AED講習**  
いざというとき迅速に使用できるように、AEDの使い方を学ぶ場を設けました。

※設置準備中

**非連結子会社**

**(株)T・Vエナジーホールディングス**  
再生可能エネルギー事業への投融資・運営  
[東京都港区]

**(株)池田商店**  
廃コンクリート・鉞さい等のリサイクル工場  
[神奈川県横浜市]

**(株)グリーンアローズ関東**  
廃石膏ボードのリサイクル工場  
[神奈川県横須賀市]

**(株)横須賀バイオマスエナジー**  
バイオマス発電事業[神奈川県横須賀市]

**(株)門前クリーンパーク**  
管理型最終処分場[石川県輪島市]

**(株)北陸環境サービス**  
管理型最終処分場[石川県金沢市] / 廃プラスチックのリサイクル工場[石川県金沢市]

**イコールゼロ(株)**  
廃酸廃アルカリ等のリサイクル工場[長野県長野市]

**(株)信州タケエ**  
混合廃棄物のリサイクル工場[長野県諏訪市] / 廃コンクリート等のリサイクル工場[長野県安曇野市] / 解体工事[長野県松本市] / 安定型最終処分場[長野県塩尻市]

**(株)タケエイグリーンリサイクル**  
剪定枝のリサイクル工場、堆肥(有機)製造・販売  
[山梨県富士吉田市、南都留郡]

**(株)タケエイメタル**  
鉄・非鉄スクラップ等のリサイクル工場  
[静岡県静岡市]

**富士車輛(株)**  
環境装置環境プラント・特殊車両の開発製造販売  
本社工場:[滋賀県守山市]  
支店:[東京都港区、大阪府大阪市]

**(株)津軽エネベジ**  
熱エネルギーを利活用した農業[青森県平川市]

**持分法適用関連会社**  
**クマケン工業(株)**  
有害汚染土壌処理剤・汚濁水処理剤の開発・製造・販売等[秋田県横手市]

**(株)トッププランニングJAPAN**  
アスベスト除去工事、解体工事等  
[東京都中央区]

**(株)グリーンアローズホールディングス**  
廃石膏ボードリサイクル事業への投資  
[東京都港区]

**(株)V・Tエナジーマネジメント**  
バイオマス発電所の運転維持管理[東京都港区]

**(株)東海テクノ**  
環境分析等[三重県四日市市]



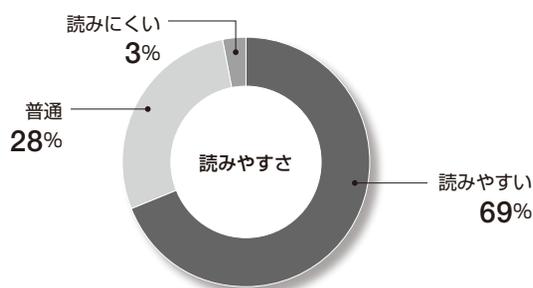


# 「タケエイグループ環境・社会報告書2016」のアンケート結果

2016年発行の「タケエイグループ環境・社会報告書2016」について、アンケートにご回答いただいた方々に厚くお礼申し上げます。いただいたご意見等について、抜粋してご紹介させていただきます。

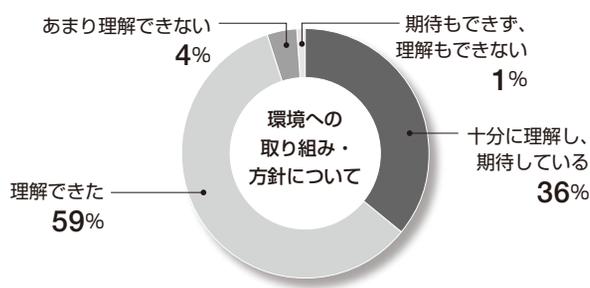
## 環境・社会報告書2016への評価

Q.1 本報告書は読みやすかったですか？



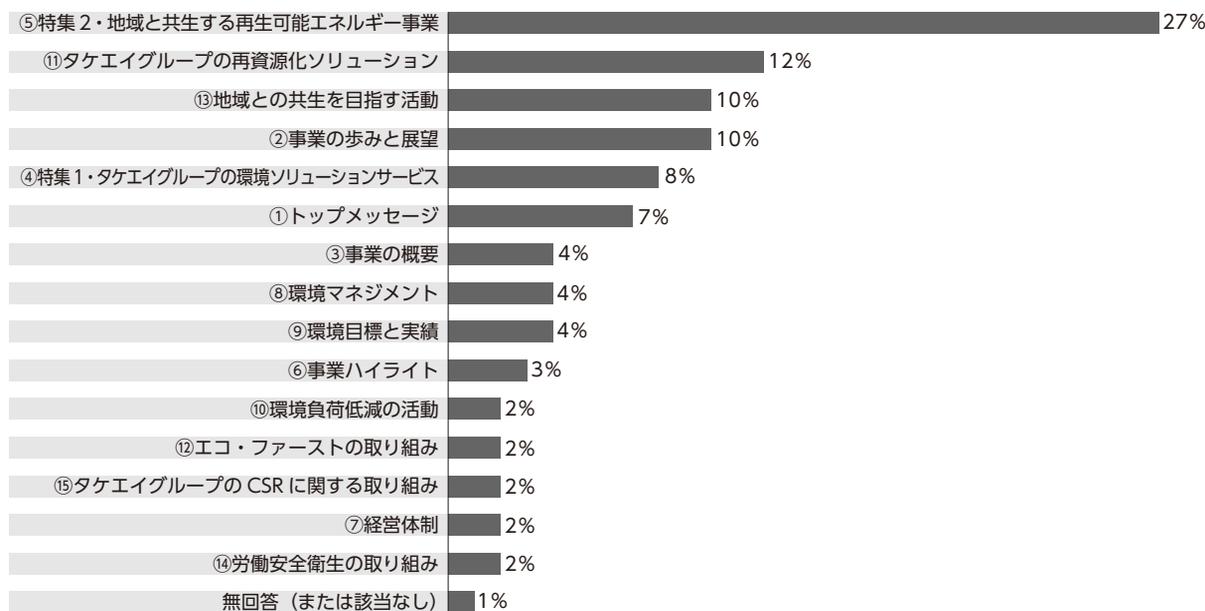
## タケエイグループの環境への取り組み・方針

Q.2 タケエイグループの環境への取り組み・方針について、ご理解いただけましたか？



## 特に関心を持った記事

Q.3 特に関心を持たれた項目は？



## ご意見・ご感想(抜粋)と2017年度版での改善点

### ご意見・ご感想

今後もバイオマス発電所をつかって、クリーンなエネルギー開発をすすめてほしいです。

子会社の活動をもっとクローズアップされると良いと思います。

### 2017年度版での改善点

特集ページ(P9~12)で「タケエイグループの再生可能エネルギー事業」を取り上げました。エネルギー事業に関する今後の展開や、バイオマス発電に伴う熱エネルギーの有効活用についても紹介していますので、是非ご覧ください。また、マテリアルフロー(P19)では、バイオマス発電によるCO<sub>2</sub>削減効果に関する記事を掲載しています。

タケエイグループ各社の取り組み(P31~32)をはじめ、各ページにおいて子会社の取り組みに関する記事を掲載しました。今後も、より多くの子会社の活動をご紹介できるよう検討していきます。



## 株式会社タケエィ

〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目4番1号 A-10階

お問合せ先：CSR推進部 ISO推進グループ

TEL.03-6361-6836 FAX.03-6361-6839

<http://www.takeei.co.jp>

